

避難中のペット飼育環境

災害の種類や被災状況、自らの状況を踏まえて、以下のような選択肢から適切な飼育環境を選択してください。

1 避難所生活

避難所運営職員の指示に従い、飼い主が責任をもって飼育・衛生管理を行いましょ。避難が長期的になる場合は、飼い主同士の協力体制を作りましょ。

2 在宅避難

避難所への避難ではなく、自宅に留まる避難です。在宅避難を考えている方は、事前に自宅が安全なのかをハザードマップなどにより確認しておきましょ。

3 車の中で飼育

ペットを車内で飼育すると、ペットの健康を損なう恐れがあります。車内で飼育する場合は温度や湿度を確認し、熱中症などに気をつけましょ。

4 一時預け先での飼育

災害時に預かってもらえる親戚、知人、動物病院または民間団体の施設などを、事前に確認しておきましょ。

ペット防災ハンドブック



この手帳は、災害時にペットと安全に避難し、安心して生活するための手引きとして作りました。災害に対しての備えや、災害時の注意事項をまとめ記載しています。記入後は、ペット用非常持出袋に入れて、いつでも持ち出せるようにしてご活用ください。



三 次 市

裏表紙

表紙

住まいの防災

- ☐ 住まいの耐震強度の確認
- ☐ 家具の固定、転倒・落下防止
- ☐ 飼育ケージの固定、転倒防止
- ☐ ペットの避難場所（隠れ場所）の確保（ケージ等）

ペット同行避難所、避難経路の確認

- ☐ 避難所までの安全な避難経路の把握
- ☐ ハザードマップなどで危険な場所の把握
- ☐ ペット同行避難受け入れ条件などの確認
- ☐ ペット同行避難訓練への参加
- ☐ いざというときの一時預け先の確保
- ☐ 個人の防災行動計画である「マイ・タイムライン」の作成

「ペット同行避難」とは、災害発生時に、自宅からの避難が必要な飼い主が飼育しているペットを同行し、指定された避難所に避難することで、避難所において飼い主が、ペットと同室で飼育管理することではありません。

ペットの情報

写真

ペットの外見や特徴がわかる写真を貼りましょ。

ペットの名前：

ペットの種類：犬・猫

犬種・猫種：

体色： 体重 kg

性別：オス・メス 避妊・去勢手術：未・済

登録番号（犬のみ）：

マイクロチップ：無・有（No.）

その他の特徴：

飼い主の情報

写真

飼い主とペットと一緒に写っている写真を貼りましょう。
飼い主であることを証明するときに役に立ちます。

住所：〒

氏名：

電話番号：

携帯番号：

☐ かかりつけの動物病院

病院名：

災害発生時の対応

- ☐ まずは飼い主の身の安全を確保しましょう。
- ☐ ペットが動揺している場合があります。落ち着いてペットの安全を確認してください。
- ☐ 犬は首輪にゆるみがないか確認し伸縮しないリードを付け、小型のペットはケージに入れて避難してください。
- ☐ 避難するときは見知らぬ動物に近づかず、不用意に手を出さないでください。

災害の心得

- ☐ まず、自らの安全を確保しましょう。次にペットの適正飼養に努めましょう。
- ☐ 平常時からのしつけや健康管理が、最も有効な災害対策になります。
- ☐ ペットを守ることができるのは飼い主だけです。周囲と協力して、ペットと共に災害を乗り越えましょう。

谷折

1

6

✂きりとり

日頃からの備え

- ☐ 狂犬病予防注射と各種ワクチンの接種
- ☐ ノミ・ダニなどの外部寄生虫の予防・駆除
- ☐ フィラリアなどの内部寄生虫の予防・駆除
- ☐ 不妊・去勢手術の実施
- ☐ 首輪
- ☐ 迷子札
- ☐ 鑑札（犬のみ）
- ☐ 狂犬病予防注射済票（犬のみ）

基本的なしつけ

- ☐ 「おいで」「おすわり」「まて」などのしつけ
- ☐ 決められた場所で排泄
- ☐ 人と動物との接触に慣らす
- ☐ キャリーバックやケージに慣らす
- ☐ 様々な音や物に慣らす
- ☐ 不必要に吠えない・鳴かない

動物用避難用品の準備

最優先物品

- ☐ ペットフード5日分（できれば7日分）
- ☐ 療法食
- ☐ 飲料水5日分（できれば7日分）
- ☐ 食器
- ☐ ケージ、キャリーバック、リード（伸びないもの）
- ☐ 常用薬
- ☐ ペットシート等トイレ用品
- ☐ 消臭スプレー
- ☐ 毛布

あると便利なもの

- ☐ ブラシ
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ タオル
- ☐ ポリ袋

3

4